

平成19年9月25日発行

発行：学校法人皇學館  
編集：法人本部総務課

TEL0596・22・6308

E-mail : soumu@kogakkan-u.ac.jp

# 皇學館学園報

第13号

### ■伊勢学舎

[法人本部・大学院・専攻科・文学部]  
〒516-8555 三重県伊勢市神田久志本町1704番地  
TEL0596・22・0201(代) FAX0596・27・1704

### ■名張学舎

[大学院・社会福祉学部]  
〒518-0498 三重県名張市春日丘7番町1番地  
TEL0595・61・3351(代) FAX0595・61・3350

●インターネットホームページ

http://www.kogakkan-u.ac.jp

## 新武道場に魂込めて

### 弓・柔・剣の練習が本格化

保護者会、後援会をはじめ多数の関係者の尽力により完成した皇學館高等学校の新武道場。総面積は一六四八・五三平方メートル。鉄筋コンクリート三階建てで一階は部室、二階は柔剣道場、三階は弓道場となっている。平成十九年四月二十一日に竣功祭を執り行つてからおおよそ四カ月。中心となって使う弓道・柔道・剣道部の練習も本格化している。今回は新武道場の完成に寄せられた喜びの声とともに、間近に迫った試合に向け黙々と汗を流す部員たちの姿を追った。

### 射場の広さは八倍 設備も充実した弓道場

「射場が前より八倍くらいに広さになって、設備が充実しました。そう笑って語るのは弓道部主将の平賀佑希君だ。射場に同時に立てる人数が最大六人だった以前に比べ、今は十人。的数が増えたらローテーションも速いため、練習効率が格段にアップした。弓具の管理担当の中渡青君は八節射法の形練習場横に設置された窓のメリットを挙げる。射場から八節の様子がよく見えるので、やり方が間違つて



チームワークの良さも強さの秘訣！



広々とした設計で安全性も増した。

いたらすぐに教えられます。離れていても部員全員が一体感を持って練習できるんですよ。安全対策も万全。安全面への配慮を喜ぶ

その点、同弓道場は安全対策が徹底されている。矢道と矢取り道を完全に分離し防矢ネットもさらに五十センチ足す予定だ。巻き藁の横には進

のは同部顧問の奥山英樹教諭だ。近年、数件の事故報告を聞くこともあるが、いずれも十分な広さが確保できない中、安全管理が十分に行き届かず、偶発的に起きたものと推測される。

昨年工事で思うように練習できなかった分、生徒たちも一層身を入れて鍛錬に励んでいるようだ。また、同部からは国体選手が二年連続輩出されて



左に写っているのは姿見稽古のための鏡。

いる。今後の予定としては、十一月上旬には神宮弓道場にて県高校弓道新

### 光が降り注ぐ柔道場は 空調設備を完備

真新しい畳の上で稽古に汗を流す柔道部。六月に主将になったばかりの中川祐喜君は剣道部との間に仕切りが出来たため、集中して練習に取り組みやすくなったと話



け、肌に心地よいそうだ。顧問の平賀秀忠教諭は緑に囲まれた環境の良さに、課題克服に意欲を見せる。

と、高校では県下でも数少ない空調設備の完備を誇らうに語った。なお、同部は七月二十一日から二十四日にかけて福岡市博多区のマリンメッセ福岡で行われた「平成十九年度金鷲期高校柔道大会」に出場。高校柔道日本一を決めるこの大会では惜しくも三回戦で敗れたものの、部員はそれぞれの修正材料をしっかりと頭に叩き込んだようだ。気持ちも新たに、課題克服に意欲を見せる。



一人ずつ専用のロッカーがあるため、広々と機能的に道場が使えるようになった。

で、それがなくなったことは寂しい。でも、新武道場の一期生である僕たちがその伝統を受け継ぎ、皇學館の名を汚さないようがんばることが大切だと思います。

### 活気付く剣道場に 新しい歴史を刻む

剣道部の主将である清水大毅君は旧武道場が取り壊されたことを惜しみつつ、新武道場の担い手としての気合を語った。

諸先輩方の汗と涙が染み込んだ武道場だったの



「剣道場との間に仕切りが出来たため、集中して練習に取り組みます」と柔道部主将の中川祐喜君。



新しい歴史をと意気込む剣道部主将の清水大毅君。

「何十年の歴史を持ち、

言葉通り、平成十九年度三重県高等学校春季大会ではみごと優勝し、新武道場の門出を白星で飾った。また、採光性が高く明るくなったため、道場全体が活気付き部員の志気も高まったそうだ。

武芸の修練を通して人間性を養う武道場。伝統を礎に新たな歴史が刻まれることだろう。

### 文武両道を磨く教場



今般、兼ねて要望があった中学校特別教室と高校武道場が立派に完成した。何しろ今回の建設の予定地は急斜面であり、さらに工事車輛の道路もなく、工事関係者には大変な苦勞をお掛けした次第である。

皇學館高校の剣道部・柔道部・弓道部は県内でも上位の成績を収めている。国体等にも出場するなど活躍である。今回旧武道場の建物が老朽化してきたの

で、新しく建て直した。今後、他校との対抗試合にも自慢して開放することができよう。

武道の盛んな学校の学生・生徒は折り目正しい。とくに皇學館高校の前身である普通科は天下に聞かえた武芸者が揃い、その躰が厳しいことでも評判であった。

皇學館中学・高校は、躰が行き届いて

鉄筋コンクリート造り地上三階建の偉容は、倉田山の上に聳え、下を通る国道上より手に取るように見え、皇學館中学校の存在感を示しているようである。先日竣工前に一巡して、至れり尽せり

の設備に驚いた。とくに中学校特別教室棟三階のマルチメディア教室・セミナーホールのすばらしさである。ボタン一つで階段教室がアツという間に椅子が片付けられてホールになる。

皇學館高校の剣道部・柔道部・弓道部は県内でも上位の成績を収めている。国体等にも出場するなど活躍である。今回旧武道場の建物が老朽化してきたの

で、新しく建て直した。今後、他校との対抗試合にも自慢して開放することができよう。

# 七夕にこけら落としコンサート

## 芸術・情報・コミュニケーション活動の新拠点

### 中学校特別教室棟



皇學館中学校特別教室棟のこけら落としである記念事業が、七月七日に同棟三階セミナーホールにて行われた。完成した同棟には音楽活動やマルチメディア教育など多彩な教育活動をすすめる最新の設備が充実。この日集まった生徒、保護者らは講演やホール内に響くギターやピアノの音色を楽しみながら、新しい教場の落成を祝った。

### 最新鋭の設備を備えた 優れた教育環境

この度の中学校特別教室棟の増築は、少人数教育および習熟度別授業を実施するうえで必要な教室数の確保、さらには、活発なクラブ活動や文化活動の拠点となることを目的としたものだ。完成した建物は鉄筋コンクリート一部鉄骨造、地下一階付きの三階建。三階のセミナーホール兼音楽室は天井高がおおよそ五メートルあり、音響効果が優れた空間となっている。中学・高校の音楽の授業や吹奏楽部の練習に使われ、生徒からの評判も上

々だ。また、ビデオやインターネットなどを見られるプロジェクターを完備しており、保護者への説明会や各種講演会にもフル活用されている。マルチメディア教室は五十台のコンピュータと二十五台のモニターを完備。L1教室として効果的な語学演習が行えるほか、これからの時代に欠かせない「情報リテラシー」を身に付けるべく、生徒たちはホームページ作成やインターネット、ワード・エクセルの使い方などコンピュータ技術を通して情報を上手に扱うための基礎知識を学んでいる。

予想以上に好評なのがサンラウンジだ。教室や廊下といった実用的なスペースではなく、生徒たちがホッと一息つける憩いの場をつくらうと設けられたのだが、昼

### 二百五十名の聴衆を魅了した 落成記念コンサート

特別教室棟では七月七日に同棟三階セミナーホールにてこけら落としとなる増築竣工記念行事が行われた。第一部は走り高跳びの日本記録保持者でシドニーオリンピック代表とし



放課後も生徒でいっぱいになるという。

休みや放課後になるとたちまちいっぱいになる。おしゃべりや宿題をしたり、ここからいつも生徒たちのにぎやかな声が聞こえてくる。同校の松本裕人教頭は「芸術、情報、コミュニケーションの新しい拠点として申し分のない環境。バリアフリーへの配慮も徹底されています」と胸を張る。



約40名の収容が可能。空調設備や本などが揃った、充実の設備だ。

て活躍した今井美希さんによる講演会。「私の夢と夢をささえてくれた人々」と題されたこの講演会では、「才能のない私がオリンピックに出場できたのは、周りの人々が一緒に夢を追いかけてくれたから」と故障や怪我で自信を失いかけたとき、周囲の人々の温かい励ましやサポートによって乗り越えたことなどを明かし、家族や仲間、応援してくれた人々への感謝の気持ちが語られた。第二部はコンクール入賞歴多数、関西を中心にソロ活動を行う若手ギタ



## 創部以来の快挙！ 皇學館高校吹奏楽部 三重県吹奏楽コンクール みんなでとった金賞

聴く人と感動をわかちあえる演奏が理想だ。将来的には定期演奏会の開催を計画している。「一音入魂」は部室に貼られていた言葉。クラブ活動を通して信頼される人間力を身に付けてほしい。

皇學館高校吹奏楽部が八月一日に四日市市文化会館で行われた平成十九年度三重県吹奏楽コンクール・高等学校B編成の部において金賞を受賞する快挙を成し遂げた。エントリした二十一年のうちに、金賞は上位五校のみ。昨年の八月に参加した中部日本吹奏楽コンクールが創部以来初の公式舞台であったことを考えれば、わずか一年で驚くほどの成長ぶりだ。



みんなで乗り切れたことが嬉しいと鈴木さん。

十名の計三十三名。県内の公立校で長年吹奏楽指導にあたり、昨年の四月から本校で指揮をとる顧問の前川幸生教諭は、ある言葉をきっかけに生徒たちが変わったと振り返る。「去年、コンクールへの出場を持ちかけたら、部員たちはほとんどついていきました。音楽は自分たちが楽しむものであって競うものではないと。それで僕は言いました。今後、人前で演奏してはいけない、自己満足だけの演奏を聴かせることはお客様に失礼にあたらないか。」

前川教諭の言葉に納得した生徒たちは、以来、奏者としての自覚を持つようになる。時間を惜しんで練習に励み、練習前に歯を磨くなど楽器の手入れにも余念がない。また、吹奏楽は個々の技術以上に互いの信頼関係が大切だ。同部ではクラブ新聞「カンタービレ」を発行。誕生日にはみんなでお祝いをしたりなど、部員同士のコミュニケーションが活発になった。

部長の鈴木愛華さんは「自分だけではなく、周りが見えるようになり、まじ」と話し、今回の金賞受賞もみんなで力をあわせたからこそ、と笑顔で語る。

次なる目標は全国大会出場とあくまでも高い。だが、彼女たちのチャンネルはまだ始まったばかり。想いが実現する日も、そう遠くないはずだ。



### インタビュー 山内優樹 コーチ

今年四月、本学陸上競技部内に駅伝チームが誕生した。昨年十一月に赴任し、現在駅伝チームを率いている山内優樹コーチは、二十四歳という若さながら前任の稲生高校陸上競技部を全国レベルまで導いた実績を持つ。さらに、三重の長距離界指導者の重鎮、町野英一先生から教えを受けた経歴もあり、その手腕に期待がかかる。

リスト・猪居謙さんによるコンサートを開催。「禁じられた遊び」「タンゴ・アン・スカイ」「さくら」などクラシックからポピュラーまで幅広いジャンルの名曲が演奏され、その迫力ある音色に二百五十名の聴衆は圧倒されたかのように静まりかえっていた。

次代を担うギタリストのホープとして期待されている猪居さんが紡ぎ出す力強い音色がホール中に響いた。



「どんなチームをめざしていますか？」

◆あいつや礼儀など基本的なことをきっちり出来るチーム、選手に育てたいですね。日頃の生活態度がいいかげんではたてえ速く走れても意味がないですから。

◆本格的に始動して半年。手ごたえは？

◆目立った変化はありません。ただ、はじめに茶髪ヘアは禁止、練習の無断欠席は頭を丸めてもらうと明言して不満があったらやめてもらうという話しました。結果、残ってくれたのが四人です。人数は少なくな

### 駅伝チーム誕生！

具体的な取り組みは？

◆選手たちは朝と夕方方の練習を通してしっかりと足腰を鍛えるよう指導しています。基礎体力を養うことはケガや故障を防ぎ、長距離を走りこなすペースとなりますからね。あとはメンタル面の強化。長距離はある意味「がまん比べ」ですから、精神的にタフな方がいい。自分では「できるんだ」という自信を持つことが大切です。そのためには、

### 人間力あふれるチームに

良いところを誉める。また、小さな目標を設定し、それをクリアしていくことで達成感や喜びを感じてもらおう。練習の成果が目に見えて現われれば選手たちは自ずとがんばってくれます。

◆チームの目標は？

◆「全日本大学駅伝競走大会に出場すること。その土台作りに向け、今、東海地区をまわってメンバー集めに奔走しています。そして、建学の精神に基づき本学の名に恥じないよう文武両道のチームを作るべく、選手たちと一丸となって取り組んでいますので、ぜひ期待してください。



# 学園ニュース

8月5日 オルソープ・ダイアナ元皇太子妃の生家にて。



## 生きた英語に触れた20日間

### 英国・ノーサンプトン大学夏期短期留学を振り返って

平成十九年八月四日から八月二十三日にかけて英国・ノーサンプトン大学への夏期短期留学が実施された。英語圏での語学研修プログラムとしては今回が初めての試みとなった(中国語プログラムは、昨夏より実施)。栄えある一期生として、文学部からは十一名(男子三名・女子八名)、社会学部からは七名(男子二名・女子五名)のあわせて十八名の学生が参加した。その他、引率者として、豊住誠文学部教授、J・ポッター社会福祉学部教授、西谷豊文学部事務部長、玉田功総務課員が同行した。

### スピーキング中心の語学研修

日本での事前語学研修の評価をもとに、授業は二つのクラスに分けられた。本学を担当したのは、いずれもTESOL※の資格を有する熟練の講師陣四名。

授業は、月々金曜の一日四時間(午前九時～午後一時)で、文法・語彙・発音・リスニング等の各技能を網羅しながら、会話中心の内容が行われ

た。新聞・音楽・映画等の学生の興味をひく話題も盛り込まれ、新鮮かつ効果的に知識を吸収したのも思われる。

※TESOL: Teaching English to Speakers of Other Languages



ノーサンプトン大学での語学研修の様子。

### イギリスでの暮らしは?!

学生・引率者共にノーサンプトン大学の学生寮に滞在した。シャワー・トイレは各部屋に備えられており、キッチンのみフラットごと(六名単位)に共用となった。



8月11日 滞在寮の中庭でのガーデンパーティ。

食事は学内にあるカフェでも摂れるが、今夏のポンド高の影響もあり、滞在早々、フラットごとの自炊が定着した。男女が一緒になって煮炊きに興じる姿は大変微笑ましい光景であった。しかしながら、英国料理については述べるまでもない。純粋な生野菜こそ格別なのだが、ある日のフラットの食卓にあがった肉じゃがが馳走に見えたのは私だけではないはずだ。そのようなこともあり、滞在中に催した

### 生きた歴史・文化に触れる

ノーサンプトン滞在后、市内研修と観光を兼ねて、ロンドンに四泊した。研修の一環として見学したバックingham宮殿ステートルームは、夏期のみ公開されているエリザベス女王の住居である。



8月12日 オックスフォード大学見学。

内部はさながら美術館のようで、その数々の美術コレクションや調度品からは往時の英国の繁栄を窺い知ることができ、多くの学生から感嘆の声が聞かれた。また、本場のサッカー・プレミアリーグやミュージカル「オペラ座の怪人」に出掛けた学生も多く、語学研修で培った語学力を最大限に駆使し、それぞれが有意義な時間を過ごしたようである。

### 今後も皇學館らしい特色ある留学を

私自身にとり、今回が三年ぶり四度目の訪英となった。前職での引率経験を活かせばと考えていたが、新たに学ぶことの方が多かった。この経験を次年度以降に活かす、皇學館らしい特色ある短期留学を作り上げていきたい。



8月17日 滞在寮の前庭での打ち上げ。

### 「御田植祭」に参加して

文学部神道学科 四年 守田 礼二



(中日新聞より転載)

ていただきました。地元の方も多く急遽お願いしたということもありうまくとけ込めるか心配でしたが、心温かく迎え入れて下さり、大変ありがたく思いました。竹取の神事はとても激しく勇壮であり、大変活気のある素晴らしいお祭でした。また、平安に始まり今も行われているというこのお祭りの歴史の深さと、地元の方々の深い崇敬心に感銘を受けました。今回、御縁がありこの神事に参加できたことを大変光栄に思いました。このようなことも皇學館に入学していただくからその御縁だと思えます。十月に行われる伊勢大祭にも皇學館大学木遣り隊として参加させていただきますが、残りわずかな大学生活、皇學館でしか味わうことのできないさまざまなことに積極的に参加し、たくさん思い出を作ってくださいと思います。

安堵感を感じることができ、何よりの喜びとなった。この経験を英語力向上のきっかけにし、この仲間が今後も絆を深めていくことを願って、結びとしたい。(総務部総務課 玉田功記)

### 皇太子殿下を千四百名で奉迎

さる七月二十日、二十一日の両日、第六十二回神宮式年遷宮御木曳行事などをご視察のため皇太子殿下が三重県にご来県された。



御幸道路で奉迎をする本学学生。

学敷地内に教職員や大学生およそ百名が並び、皇太子様は霧雨の中、車窓から終始にこやかにお応えになられた。なお、神宮文庫へは初めての「見学」であり、皇太子様は国宝で古代中国の漢和辞典の写本「玉篋」などを見て回られた。皇太子様は同日夕、新幹線で帰京された。

参加した学生の声(一部抜粋)  
「人生で最も充実した二十日間であった」  
「英語を学んでいく礎となる留学であった」  
「異国の地で自分が日本人であることを再認識した」  
「この留学を機にいろいろな国を訪れたい」  
「十七名の親友ができた」  
「集団生活の中で少しは精神的に強くなったと思う」  
「長期の留学を考えるきっかけとなり得た二十日間であった」  
「英語力の無さを肌で実感した」  
「外国人と話すことに対して、抵抗がなくなった」  
「自分のことをじっくり考える『自分探しの旅』となった」  
「仲間とそれぞれの夢を語り合った」  
「日本で困っている外国人がいたら、話しかけてみようと思っ」  
「この経験を生かすも殺すもこれからの自分次第であると思っ」